

Co-G.E.I.チャレンジ 2018

～「学部生・大学院生による工・芸共同研究」提案募集のお知らせ～
“友達集めて研究支援金(最大 80 万円)を GET しよう!”



主 催：東京工芸大学

締め切り：2018年6月1日（金）16時

- ・いいアイデアを思いついたので申請したい
- ・書類の具体的な書き方が分からない
- ・支援責任者の先生が見つからない

・・・などありましたら、教育研究支援課までご連絡ください！

○厚木キャンパス:本館3階教育研究支援課

tel:046-242-9964 担当:野木、小澤、山口

○中野キャンパス:1号館1階教育研究支援課

tel:03-3372-1321 担当:和島

e-mail:er-support@office.t-kougei.ac.jp でも受け付けています

「Co-G.E.I.チャレンジ 2018」とは？

今年度も東京工芸大学では、「Co-G.E.I.チャレンジ 2018」を実施します。これは、「Cooperative Good Educational Innovation」(協同して取り組む、優れた教育的革新)の頭文字をつなげた造語です。工学部と芸術学部という、特色のある2つの学部の学生が協力して行う優れた活動に対して、今後の大学の発展に寄与することを願って支援する事業です。

学生のみなさんから提出された申請書とプレゼンテーションをもとに、学長を委員長とした審査委員会で審査し、支援する活動を決定します。

こうやって説明するとかなり大がかりで大変なことだと思う人も多いかと思いますが、みなさんが日頃行っている活動あるいはぜひやってみたい企画が、今後の東京工芸大学のあり方を変えるきっかけになるかもしれません。みなさんの自由な発想にもとづく提案をお待ちしています。

また、2016年度に本学は工学と芸術学が連携した「色」の研究が、文部科学省の平成28年度私立大学研究ブランディング事業(タイプB)※の支援対象として選定されました。学生のみなさんから「色」の研究についても募集します。

※「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップの下、優先課題として全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学等に対し、経常費・施設費・設備費を一体として重点的に支援する文部科学省の事業

1. 対象となる活動について

申請の対象となる活動は、次の条件を満たすものです。

- 1) 工学部と芸術学部からなる本学の工・芸融合的特色を生かした活動で、工学部と芸術学部(大学院を含む)の複数の学生がともに参加していること
ただし、「Co-G.E.I.チャレンジ」の趣旨・目的に沿った研究課題で、現時点において両学部の学生による共同研究の実態が無くとも、将来的な共同研究への発展が見込める研究の応募も可能とします
- 2) 学生のみなさんが自主的に行うこと
- 3) 本学の専任教員(1名以上)を指導(支援)責任者とする事
- 4) 2019年2月末日までに行う活動であること

<留意点>

- ①活動が採択された場合、指導(支援)責任者を通じて予算執行を行います。
- ②活動終了後に成果をとりまとめた報告書を提出する必要があります
(報告書は大学ホームページで公開予定です)。また、翌年度以降行う成果

発表会等へ参加していただくことがあります。

③「色」の研究では、成果を本学の「色の国際科学芸術研究センター」に展示させていただきます。

④東京工芸大学後援会「学生作品発表活動奨励費」「学生と教員との共同活動等への教育・研究助成費」等、大学、後援会及び同窓会が支給する他の補助金への重複申請はできませんので、ご注意ください。

(参考)東京工芸大学「工・芸共同研究」規程

(目的)

第1条 この規程は、東京工芸大学(以下「本学」という。)の専任教育職員(学生含む)が、本学内の者と共同して行う特色ある研究(以下「共同研究」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において共同研究とは、特定の研究課題について学部間等において複数の者が共同で行う研究をいう。

2. 申請手続きについて

別添の申請書に必要事項を記入・押印し、各キャンパス事務局の教育研究支援課に締め切りまでに提出してください。(共同研究責任者欄は、学部生又大学院生の代表者の氏名等を記載してください)

3. 募集期間について

2018年5月9日(水)～6月1日(金)16時

4. 支援形態について

審査の結果、採択された活動には、1件につき80万円を上限として、大学から活動費用の支援を行います。

<留意点>

①支援を受けて制作された映画の著作物については、原則として大学が著作権を有することとなります。

②その他の著作物の著作権の帰属については、制作後、協議・確認することとします。

5. 審査方法について

学長を委員長とした審査委員会で審査を行います。6月14日(木)午前から厚木キャンパスでプレゼンテーションを実施し、申請書類とともに審査します。

(審査予備日:6月21日(木))

審査は下記の観点から行われます(応募者には後日、時間・場所等をご連絡します。**日程の変更はできませんので、必ずメンバーの中から1人以上の参加が必要です。なお、プレゼンテーションに参加できるのは、本学の学生に限ります。)**。

※応募件数が多数の場合は、書類審査でプレゼンテーション対象となる提案を絞り込むことがありますので、あらかじめご了承ください

1)学際性	・参画する学部・学科等の特性が、それぞれ生かされているか ・教育研究内容は、いずれかの学部・学科等に著しく偏ることがないか
2)組織性	・特定の学生に偏ることなく、複数の学生の参画が可能か ・地域社会や企業・団体との連携を具体的に展開できる可能性があるか
3)有効性	・これまでの学内教育にない、新たな特徴が認められるか ・学習効果は、何らかの評価手法により確認できるか ・プロジェクトで得られた成果は、広く内外に向けて発信できるか
4)発展性	・学内の新たな教育課程の編成等に向けた可能性があるか ・プロジェクトで得られた成果は、他の授業科目や教育課程に取り入れられるか
5)その他	・実施計画には無理がないか

6. 申請活動の例

活動例	内容例
ロボットコンテストへの参加	設計・プログラム開発等を手がけたロボットで、学外のロボットコンテストに参加する。
映像作品の制作・出展	映像作品(実写・アニメーション・インスタレーション等)を企画・制作し、外部コンペに出展する。
美術館・博物館での子ども向けイベント支援	美術館・博物館等で開催する子ども向けイベントの企画に協力し、運営やコンテンツ制作に参画する。
五感を活用した語学教育プロジェクト	リズム・映像にリンクして発音やイントネーション等を効果的に学べる語学教材を開発する。
商店街活性化への協力	商店街の活性化を図るための企画に協力し、イベント企画・実行や魅力を高めるアイデアの提案等を行う。
地球外生命体探索プロジェクトへの参加	PC演習室のコンピュータを活用し、グリッドコンピューティングによる地球外生命体探索プロジェクトに協力する。

注)これは採択された例です。例とは全く異なるもので構いませんので、自由な発想で申請してください。

7. 2017年度に採択された活動(参考)

●Co-G.E.I.チャレンジ2017(7件)

申請活動名	責任者氏名	責任者 所属学科・学年
工芸大生で盛り上げる「ロボコンフェスティバルin工芸大」	吉田 哲也	電子情報工学専攻 (博士前期課程)2年
2足歩行ロボット大会を目指したロボット開発プロジェクト	内田 尚登	電子情報工学専攻 (博士前期課程)2年
工芸共同のEV製作	長津 雄大	メディア画像学科 4年
漫画元素図鑑「イメげん」制作委員会	吉良 由希奈	デザイン学科 4年
活版印刷研究会ふれあいワークショップ	山邊 幸代	メディア画像学科 3年
beyond	星野 楓	インタラクティブメディア学科 3年
T.P.M～現代アートを活かした写真展～	嶋田 拓海	メディア画像学科 2年

※所属学科・学年は採択当時のものです

以上